



## 第4回 Change Maker Awards 本選出場しました!

2022年2月27日(日)に第4回 Change Maker Awards(中高生のための英語プレゼンテーションコンテスト)の本選がオンライン開催されました。およそ400校のエントリーの中から一次予選(書類審査)と二次予選(動画審査)を勝ち抜いた10人(個人部門)・10組(チーム部門)が、自分たちの熱中している・夢中になっている探究学習の成果をプレゼンテーションしました。本校の廣田結子さん、鈴木大輝さん、山東歩夢さん、有井潤さんのチームが予選を通過し、本選出場を成し遂げました。自分たちの探究活動を英語で発表し、英語で質疑応答しました。英語で自分たちの探究活動に対する情熱を審査員に伝えることは難しく、惜しくも入賞することはできませんでした。しかし、全国には様々な探究活動に取り組む情熱のある高校生がたくさんいることがわかり、生徒たちは良い刺激をもらうことができました。



## 1年生普通科 SSH 活動の感想

SSH 成果発表会後にアンケートを実施しました。以下、1年生普通科の生徒たちの感想です。

●グループで協力して調査を進め、分担して発表し、コミュニケーション能力と協調性が成長したと思う。来年のケクレはさらに積極的に取り組みたい。●あまり話したことのない子とグループになることもあったので、コミュニケーション能力が付いたと思います。大変なこともあったけど楽しかったです。●色々な物事を学びたい、知りたいという意欲が増し、成長したと思う。また、活動を通して、プレゼンテーションの能力も上がったと感じる。やって良かったし、楽しかった。●SSH 活動を通して、学習意欲が向上し前向きに勉強に取り組めたと思う。また、今後も引き続きこのような活動を続け自身の意欲の向上に努めたいと思う。●他の学年の人たちに自分たちが調べたことを発表する力がとてもついたと思うし、恥ずかしがらず発表できるようになったと思いました。●今まで行ってきた調べ学習から、自分で考える学習になりはじめは戸惑うこともあったが、自分の意見を班のメンバーで伝え合いそれをまとめることで、さまざまな点で成長できたと感じた。●テーマ設定から何から何まで難しかった。●どうしたら相手に伝わるのか、相手の興味を引くのか、といった点を考えて工夫をすることが大切だとわかった。成果発表会では、他学年他クラスの研究結果をきいたが、やはり学ぶことが多かった。●みんなで発表したり調べたり問題について考えるのはとても楽しかった。発表もやっていくうちにコツがわかってきて、積極的に話せるようになってきたのが嬉しかった。また2年生の発表を聞いてわかりやすい発表の仕方も学んだので次からはそれを生かして頑張ろうと思う。●班での活動は、初めは、班のメンバーは初対面ばかりで戸惑ったが、話してるうちに、本当に仲良くなれたし、協力ができる仲間になったのが良かったです。このような班で1つのことをすることは、自分達にとって、本当に大切なことだと思います。この経験は将来、必ず役に立つと思います。なので、この活動をこれからも続けていくことを自分は願っています。●この活動を通して、今まで以上に考える力が養われたと思う。また、他の生徒の考えも学ぶことができて自分自身の価値観や概念を考えるきっかけになることもあった。●SSH 活動は向陽入学への動機ではなかったのですが、このような活動ができて向陽に入ってよかったなと感じた。